

📷 8月定例会のご案内

「ミニ勉強会」、「近況報告」

8月は、7月定例会の後、会員の中から提案がありましたので、ミニ勉強会を行いたいと思います。高橋さんの「手持ちロング撮影」、脇田の「ライブ配信通信環境編」を行い、その後近況報告へと進みます。皆様奮ってご参加ください。

次回WEB会議

2021年8月12日（木）19時～21時

勉強会今後の予定（ネタを募集中です！）

- ・ビデオ業の事業継承・後継者について（赤岡）
（会員個人の場合とビズネット全体の場合）
- ・ホールを借りて、音声収録（菅澤）
- ・ネット配信のやり方（赤岡）
- ・合唱の撮影方法（吉岡）
- ・後悔しない機材の選び方（脇田）
（カッコは提案された方です）

👥 7月のご報告

「臨時総会」、「近況報告」

今月の参加者

高橋、近藤、吉岡、佐藤、菅澤、福田、
赤岡、上河、野上、脇田

臨時総会が開かれ、次ページ「臨時総会議事録」の通り決定しました。

近況報告では以下のコメントがありました。

高橋…お客さんが、昨年は「どうなっちゃうかなあ」という感じだったが、今年はイベントをやりがっているし、こなれてきたよう。無観客や分散日程でまわしてきている。お客さんの要求をしっかりとキャッチしてやっていこうと思う。

赤岡…学校はイベントをすごくやりたがっている。

菅澤…まだまだBlu-rayやDVDの需要はある。お客さんは欲しがっている。最近Fimoraという編集ソフトを使っていて、なかなか良い感じ。

上河…ピアノの先生からの問い合わせがすごく増えた。今年の概算で、売上が120%。早く撮影がこないか毎日楽しみにしている。

近藤…三脚の紹介

野上…ストリームデッキの紹介

佐藤…無料でも良いからと、仕事を積極的にやってきた。撮影現場で多くの人と話ができ、とても価値があった。（佐藤さんから「フリッカーを消す裏ワザ」の紹介もありましたので、これはまた後日詳細をお聞きしたところです）

6月末～7月頭に、ビズネット会員で協力して、赤岡さんの運動会配信を手伝いました。

赤岡…今回の配信は大人数で助かりました、ありがとうございます。すごい良い経験でした。スイッチャーが大変と思った。

吉岡…できるだけみんなが映るようにスイッチングしました。

高橋…本番で無事配信出来て良かったと思う。初日のリハーサルでいろいろトラブルがあって、かえって勉強になったかも。

以上敬称略 文責：脇田

✍️ 会員コラム

吉岡さん「臨時総会議事録」

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

が続きます！

（文責各筆者）

臨時総会議事録

令和3年7月8日 午後7時00分より、ZOOMにおいて、臨時総会を開催した。

議決権のある会員総数	13名
出席会員数	10名
委任状	0通

以上のとおり会員の出席があったので、副会長 近藤一明 は議長席につき、定時総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2022年度、年会費免除に関する件

2020年度、2021年度の新型コロナウイルスの影響を考慮し、2022年度の年会費を免除または減免する旨、福田光宏、赤岡正博より提案があった。他の会員の意見も聞き、その可否を議場に諮ったところ、以下の内容で承認可決した。

2020年度、および2021年度の会費を納めている会員に対して、新型コロナウイルスの影響を考慮し、2022年度の会費を免除する。

第2号議案 情報セキュリティ保護に関する件

情報セキュリティ保護について、会則に追加する旨、吉岡伸次より提案があった。他の会員の意見も聞き、その可否を議場に諮ったところ、以下の内容で承認可決した。

ビデオナー・ビズネットの活動(総会、定例会、勉強会等)において、個人や顧客等の情報、知識や技術等の情報、ID・パスワードほか、知り得た情報に関して、当事者の同意なく、外部に漏洩することを禁ずる。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後 9 時解散した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席役員がこれに記名押印する。

令和 3 年 7 月 8 日

ビデオナー・ビズネット（日本映像制作者協会） 定時総会

議長	
出席役員	近藤 一明
出席役員	高橋 昌一
同	吉岡 伸次
同	脇田 昇

西湘のビデオ屋稼業

2021.8月 高橋 昌一
(含むことあり：個人的、感覚的話し)

ふるさと北海道での中学生時代、学校での一コマ。

先生が教室に入ってきて突然「これから自習時間にします」と告げて出ていく。そんなことが数回あった。その時はピンとこなかったが、思えば先生方はその時、東京オリンピックをテレビを見ながら応援していたのだ、と今は納得できる。もちろん私たち生徒も、自習には異論なしの1964年のある意味において良き時代の思い出です。

●会報にも載せました6月初めの小田原市民会館大ホール撮影の、音声収録を多少の参考にでもなればと簡単にご紹介。

高橋のホール音収録の通常スタイルは、ホールPAさんから“三点吊りマイク+他音源(MC・CD音等すべて)”を、「音楽系」であればLRで、「それ以外系」ではモノ1本で送っていただく。

各音量レベルは多少の注文をつける時もありますが、たいがいホール音響さんに一任することの方が多いです。そのほかに保険として、エアーをカメラ横のガンマイクにて、ステージ前にはオンマイク的にICレコーダを置いて、収録します。

6月の撮影は「和太鼓」「ダンス」「活劇」「朗読」と多彩なので、ICレコ音量設定は一台目を和太鼓に合わせ、二台目は他の演目に合わせてセット(普段では一台収録が多い。一番に気を付けているのは“音割れ”防止)しました。ここまでは定例会でもよくお話しする内容ですが、今回の主題は撮影後の、編集での音調整の一部についてです。

今回編集タイムラインに載せた音声素材は、ホール側ラインとICレコーダ2台の計3トラックになります。編集ではイコライザー調整を多用する方で、各トラック毎に空調ノイズや低音時によくありがちなこもり音を軽減させたりします。

どのトラック音を使用するかは、モニターしながら演目毎に決めていくのですが、ケースによっては複数トラック音を重ねて使うと驚くほど音の広がりを感じる時もありたりします。(逆に聴きづらくなる時もあります)

今回和太鼓では、キレよく聞こえたICレコ音をメインに、ホール三点音を混ぜて広がりを加味しつつ、ホール内に反射で発生するバチ音の中でも、特に耳障りな音を思い切ってミュート(2~3フレーム尺)してみたら随分と聴き良くなりました。

元来、映像と比べて音にはまったく詳しくはないのですが、このように「自分の思うように音声を仕上げよう！」としてからは、随分と音クオリティが上がってきたように感じています。(もちろん作業にはかなり手間がかかる時もあります)

以上です。ざっくりとした内容になってしまいましたが。